

吹付けアスベスト(石綿)除去対策工事状況

◆区有施設における吹付けアスベスト除去対策

アスベスト(石綿)は、自然界に存在する鉱物で耐熱性などに優れているため、建築資材をはじめ様々な分野で使用されてきました。しかし、発ガンの危険性が指摘されたため、建築工事などの従事者の健康確保の観点から一定の規制がなされてきました。そこで区は、施設利用者等の安全を図るため、昭和54年度から吹付けアスベスト飛散防止対策として、アスベストの劣化・損傷状態に応じて「除去」、「囲い込み」、「封じ込め」のいずれかの方法による対策工事を行ってきました。

下表は、吹付け材が使用されているか、若しくは、アスベストの含有が懸念される昭和60年(1985年)以前に建築された区有施設につきまして、「吹付けアスベスト除去対策工事状況」としてお知らせしていたものに、その後行った再点検の結果を踏まえ、加筆・訂正したものです。

◆用語説明

囲い込み：既存の吹付けアスベスト層はそのまま残し、アスベスト層が使用空間に露出しないよう、板状材料等で覆うことによって、粉じんの飛散防止、損傷防止等を図る方法をいう。

封じ込め：既存の吹付けアスベスト層はそのまま残し、アスベスト層へ薬剤の含浸若しくは、造膜材の散布等を施すことにより、アスベスト層の表層部又は、全層に被覆若しくは、固着・固定化して、粉じんが使用空間内へ飛散しないようにする方法をいう。

■部分は、残存ヶ所(石綿含有未確認を含む)を示す。

石綿分析結果覧の有は、含有している。無は、含有していない。未使用については、実際に使用されて無かったことを示す。

平成30年12月20日現在

NO	施設名称	建設年度	室名	使用箇所	石綿 分析結果 (有・無)	除去工事 実施年度	処理方法・経過等
16	旧元町小学校	昭和2年 (1927)	給食室	天井	有		*昭和57年梁部撤去、天井囲い込み

(抜粋)